帰国研修員便り

【アクションプラン経過報告】

Good morning Shimoda San and Ueyama San,
I hope you are both doing well and someday could visit us at Santo Domingo.
Attached you will find for Ueyama San, an update of the actions made so far related to the Action Plan made in the course.　I send this to you so you can be informed of the progress and the projects we are implementing in this matter.
Thank you,　Regards
Ana Santana

アナさん（ドミニカ帰国研修員）からアクションプラン経過報告が届きました。

１）　コースリーダー：　植山　高次

２）現地活動報告　：　SANTANA MORETA Ana Valentina

（ドミニカ帰国研修員）

２０１８年６月３０日

（公財）北九州国際技術協力協会　研修部

JICA/KITA 技術研修に参加したアナさん（ドミニカ帰国研修員）から アクションプラン経過報告が届きました。

今回ご紹介する帰国研修員便りは、2017 年度：研修「民生部門の省エネルギー技術(A)」コースに参加されたアナさんの帰国後アクションプラン経過報告です。

1．今回レポートが届いた帰国研修員の紹介

名前（通称）	写真	氏名	国名	受入れ研修期間
アナさん		Ms. SANTANA MORETA Ana Valentina	ドミニカ共和国	2017/8/20 ～ 2017/10/07

ドミニカ共和国はカリブ海と大西洋に囲まれた国で、特に欧米の人たちに人気のあるリゾート地です。
気温が 27 度ということで、一年中、ビーチでくつろぐ大勢の観光客で賑わっています。

バヴァロ ビーチ

ダマハグアの 27 の滝

２．研修時（企業訪問）の写真

世界各国から派遣された研修員（８名）の皆さんは、北九州市（ＪＩＣＡ九州）に集まり、「民生部門の省エネルギー技術」について勉強しました。

3．植山コースリーダーよりメッセージ

JICA の開発途上国研修では、同じ内容のコースであっても研修効果が大きかったと感じる、いわゆる良いコースと講師やコースリーダ(CL)やコーディネータ(CDN)がいくら頑張っても効果の上がらない、いわゆる悪いコースがあります。良いコースか悪いコースかは大部分参加した研修員の質で決まります。

ドミニカ共和国からアナさんが参加したスペイン語のコース 2017 年度「民生部門の省エネルギー技術 A」は良いコースの一つで、特に本コースは研修員の粒が揃った素晴らしいコースでした。コース終了後に JICA へ提出する完了報告書の中に「研修員のアクティビティ評価」という項目があります。ここでは CL,CDN が研修員それぞれを真面目度、理解度、職位、資質、人柄という観点から総合的に評価し、100 点満点で採点しています。本コースでは 8 名の研修員中 5 名が 100 点の評価で、他の 3 名も 96, 88, 88 で平均点 96.5 という申し分のない研修員達でした。研修が進むに従い研修員達の知識や意識がだんだん高まるのを実感でき、私達も毎日楽しく研修を推進できました。

アナさんは勿論 100 点満点を獲得した内の 1 人で、研修での成果を仕事に生かしてくれると感じられる受講態度でした。CDN の書いたアナさんに対するコメントでは「専門外の技術的研修内容を、自身の業務にどう生かすかを考えながら積極的に参加していた」と書いてありました。アナさんは政府（エネルギー鉱山省）で省エネを企画する立場にあり、そのアクションプランでは、２つの行動計画「エネルギー効率基準を作成する」「国民の省エネ意識を啓発する」を挙げていました。テーマはありきたりでしたが、要所、要所で研修内容が具体的に反映されていて、真面目に考えているなとの印象でした。

そのアナさんから研修後 3 か月たった 2018 年 1 月に研修内容に関する問い合わせがありました。省エネ基準を作る上での技術的内容でしたので、私は喜んで詳しく回答しました。回答は長かったので他のコースに対応中だった CDN もスペイン語へのサービス翻訳ができず、とりあえず日本語のままで送りましたが、自分で何とかするとの返信が来ました。そしてそれから 4 か月後に英語のアクションプラン経過報告が届きました。彼女が研修中に AP 報告書へ書いた２つの行動計画に対する企画立案を自組織に提案して、政府としての行動に移そうと試みる内容で、AP を真面目に実行していることが伺われました。

偶然にも私の誕生日に届いたアナさんのレポートは、直前に終了したいわゆる悪いコースの典型だった別のコースが原因で、意欲喪失していた私を非常に元気づけるプレゼントとなりました。私はアナさんの真面目な取り組み姿勢に感謝するとともに、まだ 20 代の若い彼女が今後ますます飛躍し、政府内で重要な役割を果たしてくれることを真に期待したいと考えています。

4．アナさんとコースリーダーとのメール交信

◆以下、交信されたメールの一部を抜粋しています

2018 年 1 月 11 日

植山様
新年おめでとうございます。
植山さんが講義された「建物の外皮性能」に関して、私のアクションプランの活動内容「気候区分の決定」ついてご教授お願いします。

1- U 値はどのようにして求めるのでしょうか、その方法は？
2- 計算方法はどうでしょうか？
3- 考慮するべき気候の要因（ファクター）は何ですか？

我が国の気象当局に問い合わせましたが、回答を得ることができませんでした。
植山さんが、情報をお持ちでしたら大変助かります。
どうぞ宜しくお願いします。
アナ　サンタナ

2018 年 1 月 15 日

質問への回答を作りましたので添付します。
PPT8 ページありますが、最初の 2 ページが
新しく作った回答で、あとの 6 ページは、テキストからの引用ページです。
これは U_A の計算方法ですが、基準値の根拠は残念ながら見つかりませんでした。
引き続き気にしておきます。
植山

添付資料（例）

$$U_A = \frac{\text{単位温度差あたりの総熱損失量(W/K)}}{\text{外皮総面積}(m^2)}$$

U_A は上式で表されるので単位は W/m^2K となります。これは建物内と外の温度差が 1 度である時に建物の外皮 $1m^2$ から逃げてゆく熱量（熱透過率）の外皮全体の平均値です。
透過率（量）は断熱材によって違うので、平均値は下の式で求められます。
【計算式】
透過率（量）の外皮全体の平均値=（断熱材1の透過率×その部分の面積＋断熱材2の透過率×その部分の面積＋･･･）/外皮の総面積。

～以下、本文を割愛～

５．アナさんから帰国後の活動報告

2018 年 5 月 26 日

植山さん
おはようございます。
元気に過ごしているでしょうか？
いつかサント・ドミンゴ（ドミニカ共和国の首都）を訪問してくださることを願っています。
植山さん宛に、研修で作成したアクションプランに沿って、これまでに実施した活動の最新レポートをお送り致します。我々が実施している計画及び進捗状況をご確認ください。
よろしくお願いいたします。
　　アナ　サンタナ

帰国後の活動報告

①報告者：　アナさん（Ms. SANTANA MORETA　Ana Valentina）
②研修コース：　民生部門の省エネルギー技術(A)
③タイトル：　アクションプラン経過報告

課題（１）

国家規格に適用できるように、エネルギー効率に関する品質、機器、建築基準の策定

1) 目標

・2020 年までに民生部門の機器及び省エネ建造物に関する規制枠組みを導入する。

2) 現状

① 私たちはドミニカ品質協会(INDOCAL)と共に、LED ランプの規格化技術委員会の会員です。最初は自主的な規制になりますが、LED ランプの仕様、表示および試験方法などを取りまとめています。この基準は現在、技術委員会で議論されていて、その後パブリックレビューに供する予定です。

② また、INDOCAL と協力して、洗濯機と電気温水器の規格化（仕様・表示）委員会の設立を申請しました。この申請は INDOCAL の予算に含まれていたもので、進展していくと思います。

③ 私たちは、中米エネルギー効率技術委員会（中米地域のエネルギー効率技術規格制定を目的とした委員会）に参加しています。これを通じて冷蔵庫、モーター、LED 照明、空調機などの技術に関する事例、モデル規格、適合性評価、市場監視の知見を取得していきます。

④ 公共事業通信省と共に、建造物エネルギー効率規制をすぐ始める予定です。公共事業通信省は建設に

関するすべての規制を作成、監督する機関ですので協力して取り組んでいきます。

⑤ また、The Fernando Arturo de Meriño Agroforestry 大学（UAFAM)と一緒に、グリーンルーフ（屋上緑化）やグリーンウォール（緑の壁）が設置されている建物の省エネ性能と、その建設や維持方法に関するグリーンインフラ（緑のインフラ）の指導に取り組み始めます。

課題（２）

エネルギー効率の効果やメリットを伝える啓発プログラムの作成

1）目標

・2019 年度にインタラクティブ（対話型）モデルを通じて、エネルギーの重要性と正しい利用の必要性が理解できる環境教育プログラムを開発する。

2）現状

① 2018 年 3 月にエネルギーの合理的利用に関するキャンペーンを開始しました。第一段階として政府機関向けに、適切な資源管理意識を高めることを目的としています。これにはミニクリップ(miniclip SA ： 企業名) のような動画資料と省エネのヒントが盛り込まれています。キャンペーンはデジタルメディアとエネルギー鉱山省の下記ホームページで公開中です。

www.ahorraenergia.mem.gob.do

② キャンペーン活動の中には、組織内の職員にエネルギーの合理的利用と省エネ方法を案内するため、動機づけセミナーを実施することも計画されています。

③ グリーンインフラ指針を作成した後、その建設方法及びエネルギー削減効果の大きさについて、UAFAM と話し合うつもりです。

クリックしてアナさんのレポートを参照下さい。（英語版）

6．JICA-KITA 受入研修期間中の写真集

研修期間中のアナさん（ピックアップ）　（2017 年 8 月～10 月）

講義終了後の記念撮影

ジョブレポート発表会

北九州エコタウン事業
北九州エコタウン見学記念
2017年08月25日
2017/08/25

2017/09/07

研修旅行

2017/09/20

2017/09/25

以上